

# 発達障がいのある方の「伝えられない」を、 周囲の適切な行動に変える コミュニケーションツール開発

## とんこつPBL

三好 裕二郎 Scarlett Whisnant

泰田 青治 木田 晟太 高原 和

# とんこつPBL



Yujiro Miyoshi

**三好 裕二郎**

MBTI: 主人公



Nagomi Takahara

**高原 和**

MBTI: 管理者



Asato Kida

**木田 晟太**

MBTI: 仲介者



Seiji Yasuda

**泰田 青治**

MBTI: 提唱者



Scarlett Whisnant

**ウィズナント スカーレット**

MBTI: 主人公

## スライドの目次

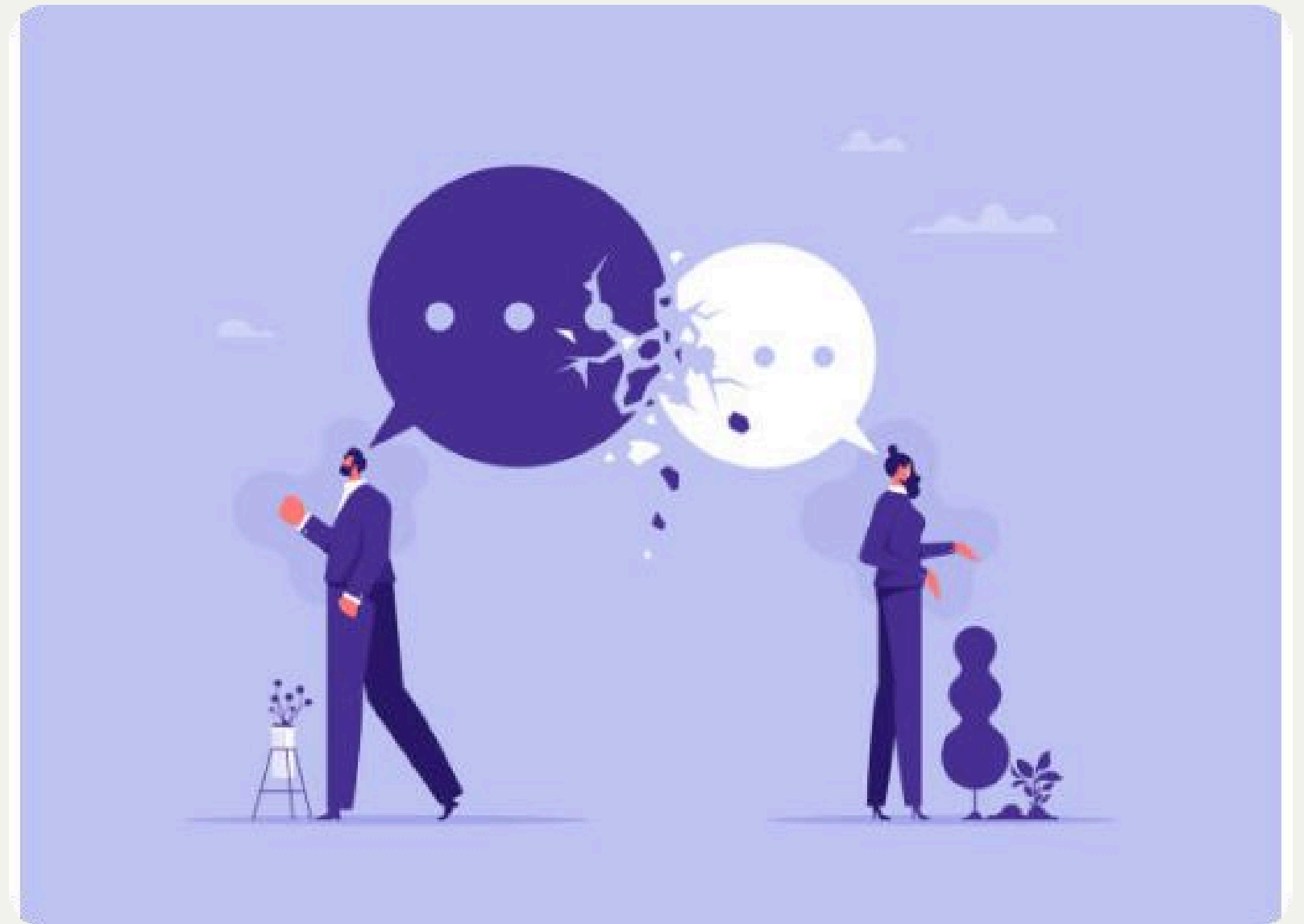
- 01 課題
- 02 プロダクトフロー
- 03 【プロトタイプ①】 コミュニケーションボード
- 04 【プロトタイプ②】 緊急サポートツール
- 05 【プロトタイプ③】 わたしミュージアム
- 06 まとめ

# 01 課題

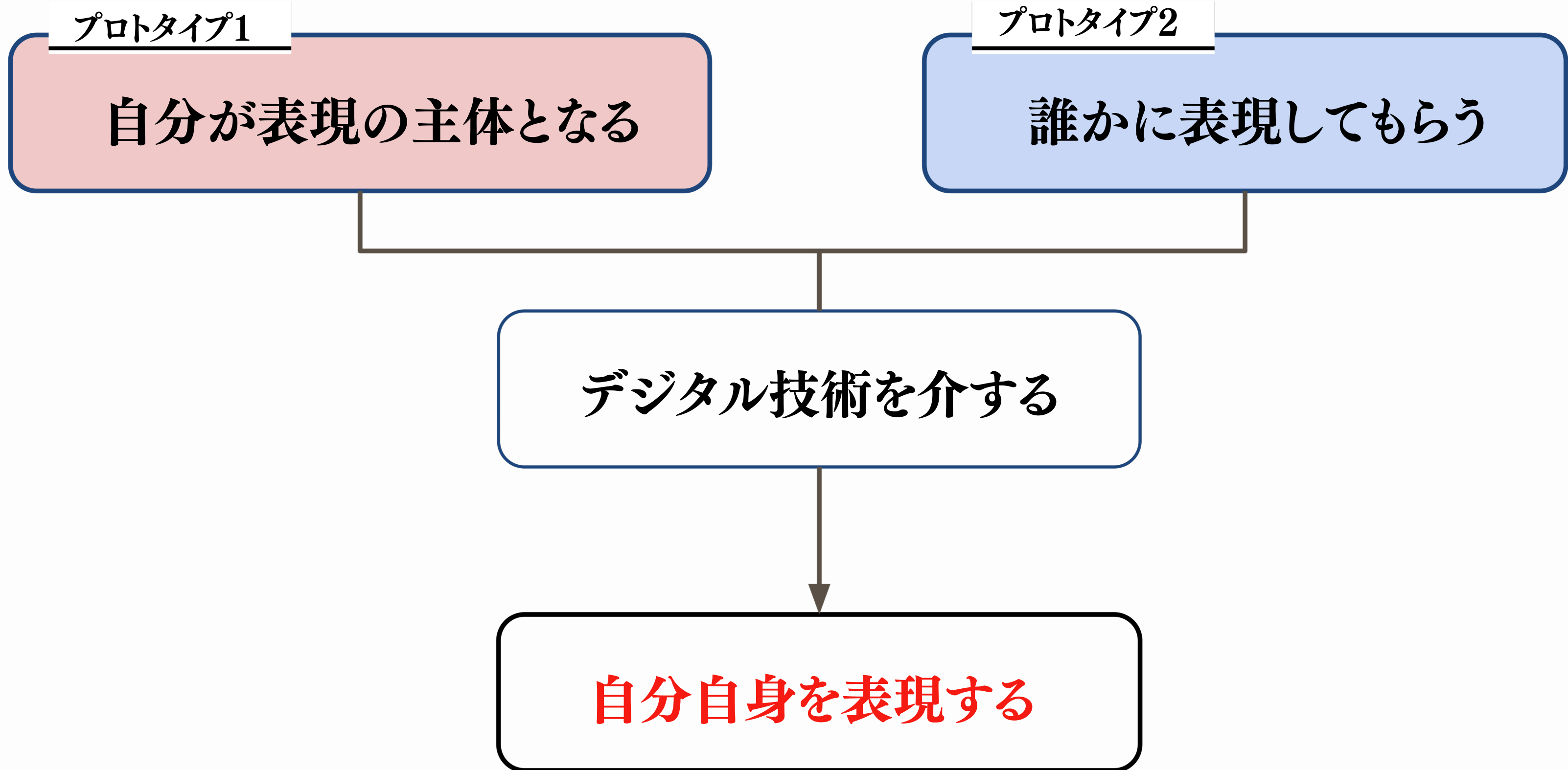
### 支援が「個人の経験」に依存

現状の支援や関わりは、「一人に向き合う経験(暗黙知)」に強く依存しています。

この暗黙知が本人から第三者へ手軽に伝わらないことが、「**想いのすれ違い**」や「**曖昧な指示**」といった壁を固定化させています。



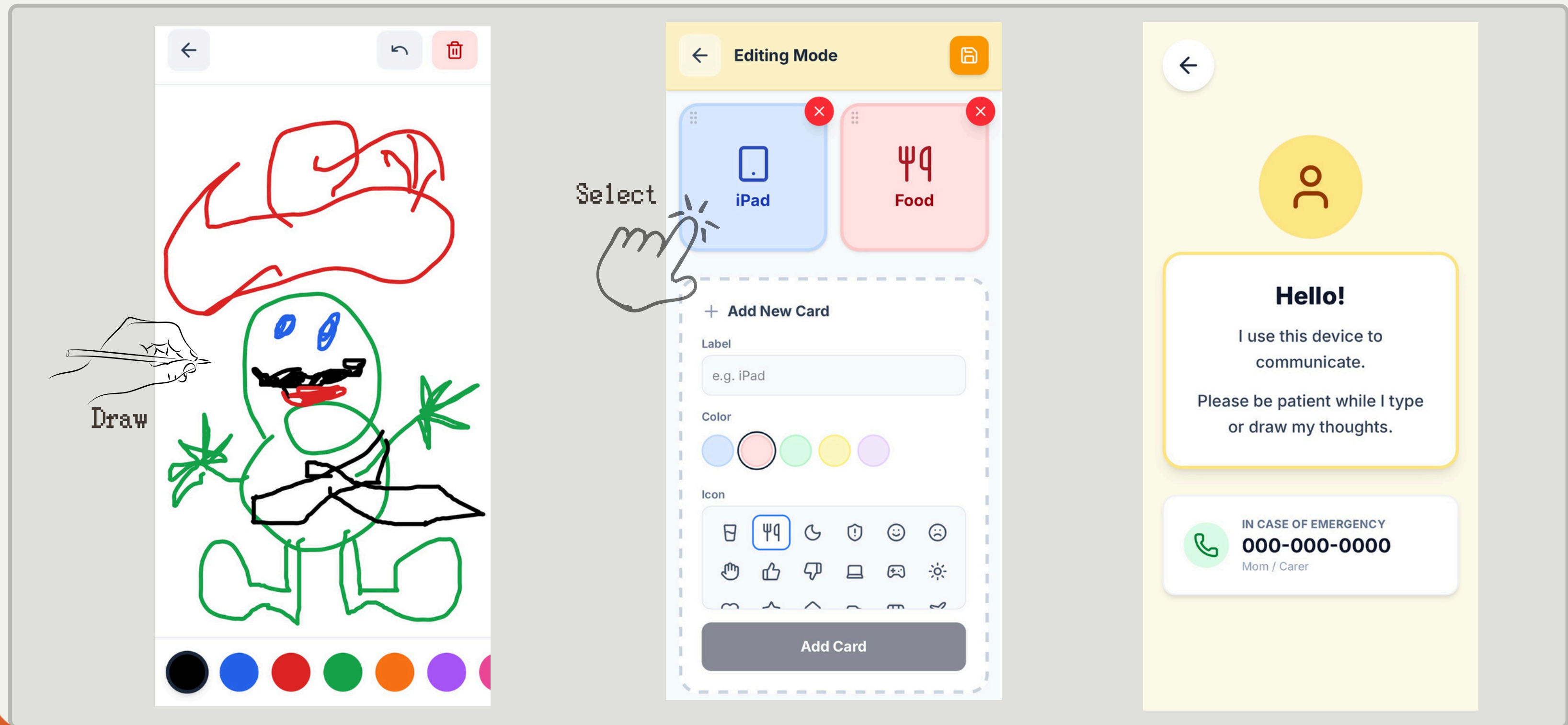
## 02 プロダクトフロー



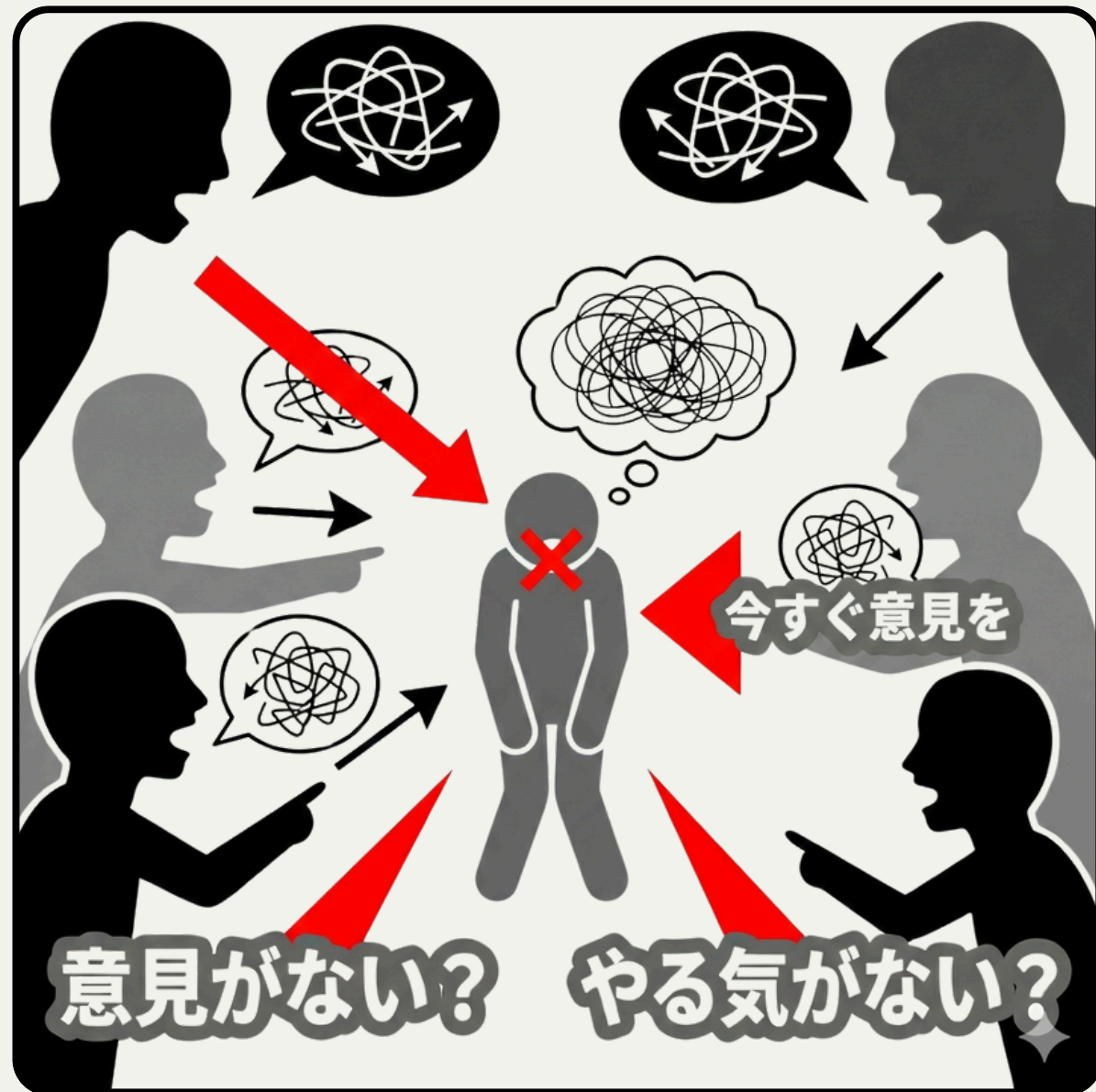
# 03 【プロトタイプ①】 コミュニケーションボード

# 【プロトタイプ①】 コミュニケーションボード

自分の状況・感情を文字や絵で知らせることを目的としたプロダクト



## 例:会議・グループワーク中(大学・職場)



複数人が同時に話す会議の場で「今すぐ意見を言って」と求められると、考えはあっても言葉の整理が追いつかず、緊張によって声が出なくなる。

黙ってしまう

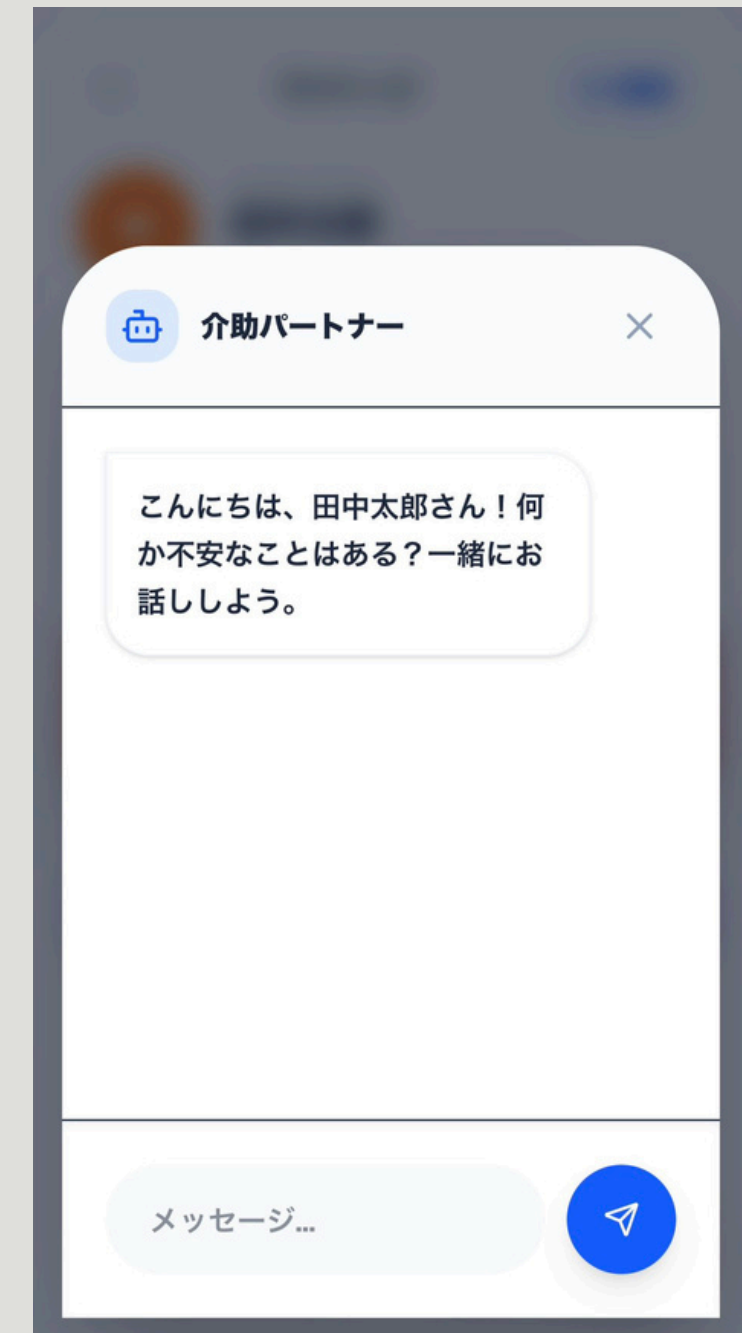
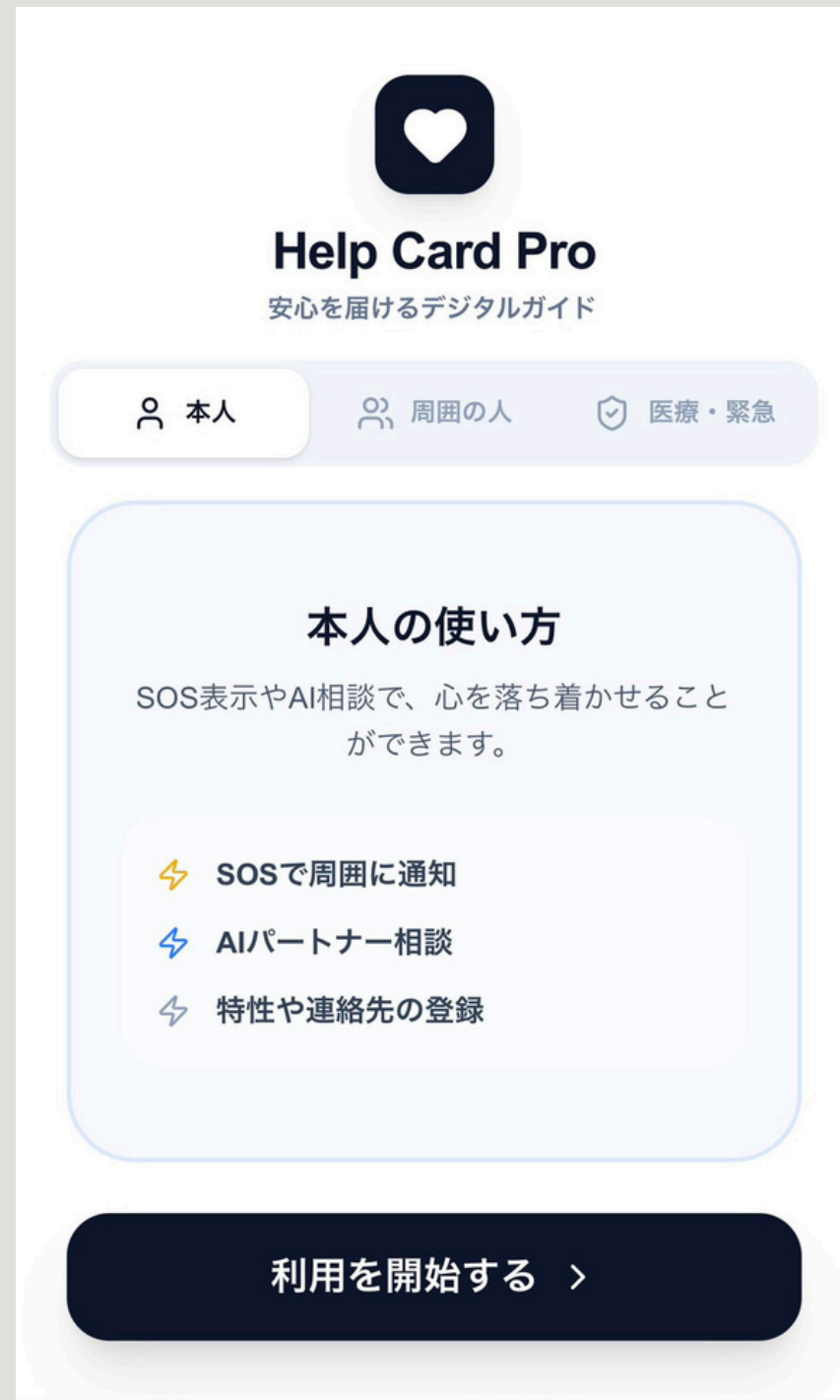
「意見がない」「やる気がない」と誤解される

アプリがあると...

事前にまたはその場でキーワード / 図 / 簡単な文章を選んで表示できる  
発話しなくても「考えている内容」を共有できる。

# 04 【プロトタイプ②】 緊急サポートツール

## 緊急時の対応の仕方を教えてくれるサポートシステム



# 「自分らしさを持ち歩く」カスタマイズのUX



## 一人ひとりに合わせた支援

「ヘルプカード」は一人ひとり必要な支援内容が異なります。ユーザーの状況に応じた柔軟な情報提示が可能です。

## 自由な編集と追加

自分の特性や、よく行く場所に合わせてカードを自由に編集・追加できます。ライフスタイルに寄り添った設計です。

## 個別に最適化できる

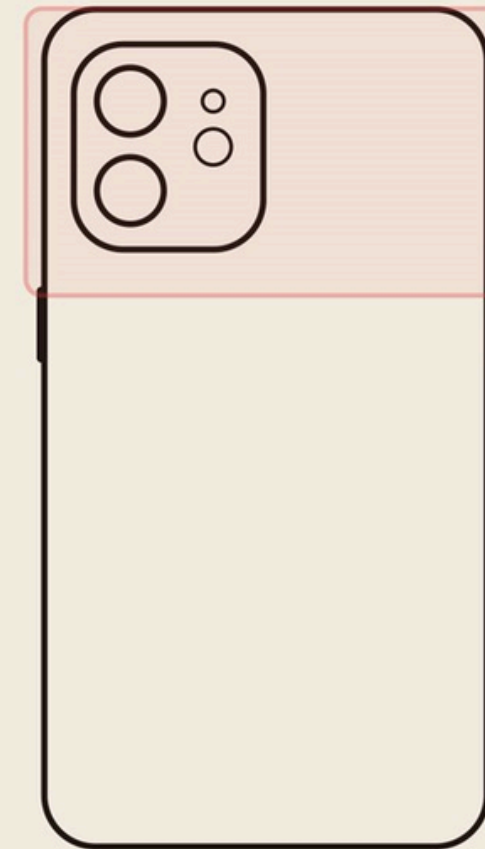
「自分専用のコミュニケーションツール」



## スマホでタグの読取り位置

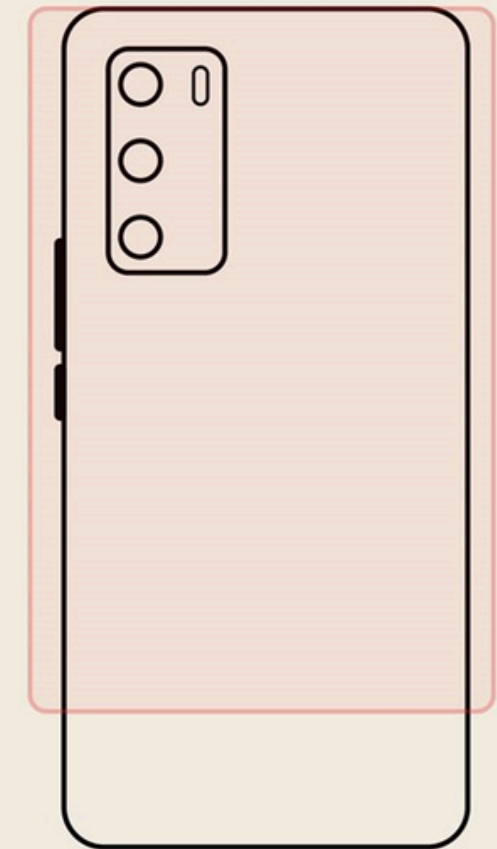
iOSの場合

※スマホの上の部分



Androidの場合

※読取り位置はスマホによって異なる



# 05 【プロトタイプ③】 わたしミュージアム

## 【プロタイプ③】 わたしミュージアム

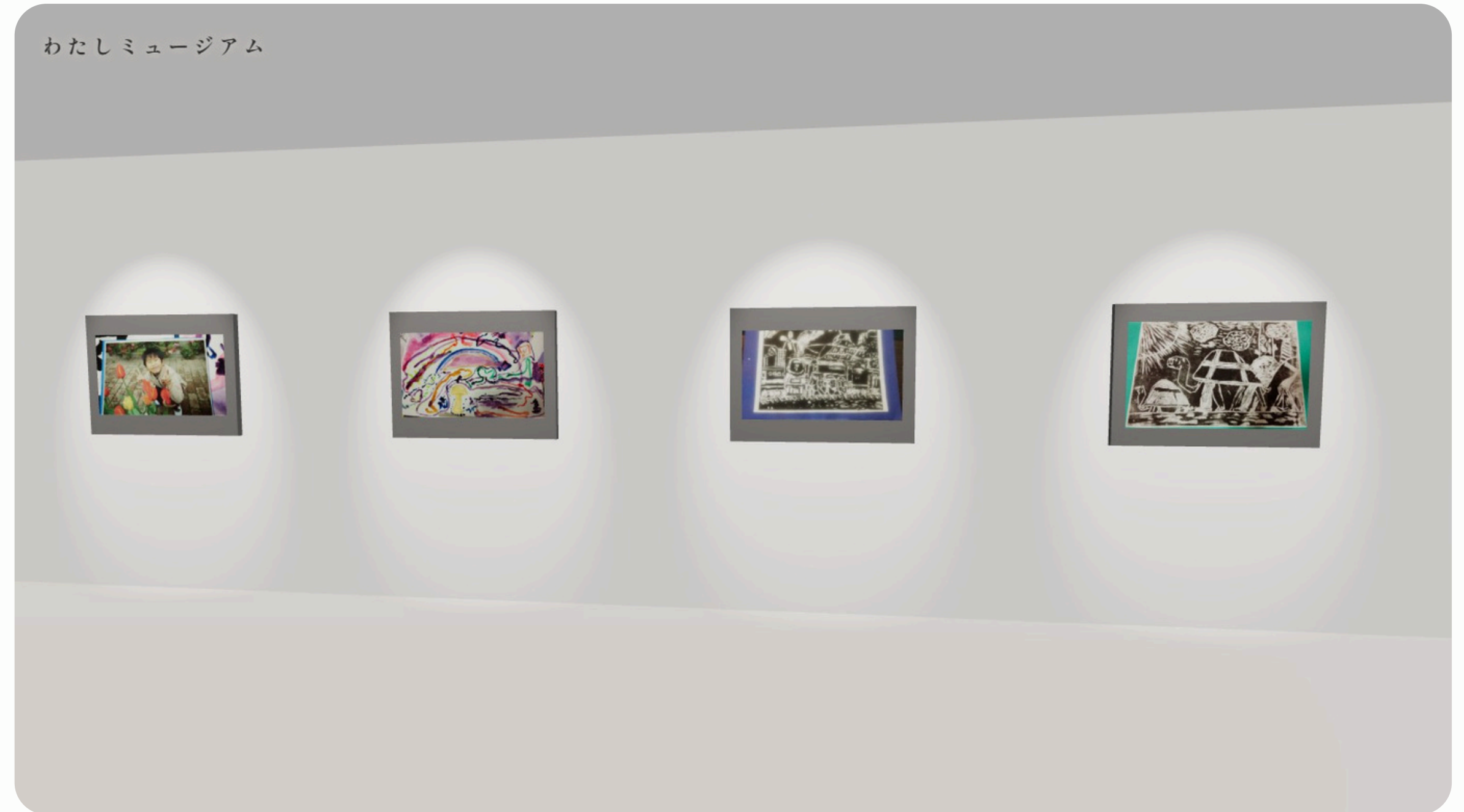
①自分の作品を撮影する



②撮影した画像をアップロード



③自分だけのミュージアムができる！



実際の動作画面は囲い込みの際に御覧ください